

「臨床婦人科産科」第 77 巻 総目次

2023 年（第 1 号～第 12 号）

（増）は増刊号（4 号として発行）、数字は増刊号の頁数
（1）～（3）、（5）～（12）は号数、数字は通巻頁数

今月の臨床

●最善で最新の産科麻酔診療をめざして（1）

〈妊娠前の麻酔〉

不妊治療の麻酔

渡辺 楓……………6

〈妊娠初期の麻酔〉

子宮内容除去術

吉富智幸……………14

異所性妊娠手術

石川 源……………19

〈妊娠中期・末期の麻酔〉

妊娠中の腹腔鏡手術

紀之本茜……………25

頸管縫縮術

杉田道子……………30

胎児治療の麻酔

大橋夕樹……………35

〈分娩時の麻酔—帝王切開術の麻酔〉

帝王切開術における麻酔法の選択

照井克生……………41

区域麻酔の標準的実施法

伊藤真理子・川真田樹人……………48

区域麻酔中に痛みを訴えた際の対応

鹿原史寿子……………54

全身麻酔法と気道確保困難の対応

小松明日香・重松ロカテリ 万里恵・河野 崇
……………59

局所浸潤麻酔法

松井尚彦……………65

産科病態と麻酔上の考慮点

藤田那恵……………70

帝王切開・経陰分娩後の疼痛管理

上村友二・田中 基……………79

術中悪心嘔吐・術後悪心嘔吐の予防と治療

杉山貴康……………87

Enhance Recovery After Surgery

松田祐典……………94

〈分娩時の麻酔—硬膜外無痛分娩〉

硬膜外無痛分娩の実際

田辺瀬良美……………103

重篤な麻酔合併症の予防と治療

若田竜一・笠井馨美……………111

硬膜穿刺後頭痛の予防と治療

石川慎一……………118

産後神経障害の評価と治療

佐藤聖子・秋吉浩三郎……………127

硬膜外鎮痛と産後うつ・母乳哺育

秋永智永子……………133

硬膜外鎮痛による児の長期的影響

中畑克俊……………138

硬膜外無痛分娩の安全性向上のための JALA の活動

海野信也……………145

〈分娩時の麻酔—その他の産痛緩和法〉

自己管理鎮痛法（IV-PCA）

佐藤正規……………156

神経ブロック

正岡 駿・竹田 純……………162

〈妊婦の疼痛緩和法〉

妊婦のペインクリニック

山口重樹・山中恵里子・木村嘉之……………167

〈妊産婦急変対応〉

アナフィラキシー

佐藤英恵・岩崎 肇……………176

産科危機的出血

坊垣昌彦……………181

塞栓症

浅田雅子・崎村正太郎・山浦 健……………187

妊産婦の心肺蘇生

木村貴一・金澤伴幸・森松博史……………193

●子宮体がん診療の最前線—最新分類から治療法まで（2）

〈オーバービュー〉

様変わりする子宮体がん診療

万代昌紀……………218

〈新たな分類〉

子宮体がんの分子遺伝学的分類と診断

前田大地…………… 222

子宮体癌取り扱い規約における分類の再編—新 WHO 分類を踏まえた今後の方向性

三上芳喜…………… 228

〈手術療法〉

子宮体がんに対する腹腔鏡手術

近澤研郎・磯部真倫…………… 233

子宮体がんに対するロボット支援下手術の実際

吉田健太・近藤英司…………… 239

高齢者に対する手術療法

田中智人…………… 245

子宮体がんにおける傍大動脈リンパ節郭清の治療的意義

山崎博之・金野陽輔・渡利英道…………… 250

腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の安全な施行のために

寺井義人…………… 256

センチネルリンパ節生検の現状

戸上真一…………… 262

〈薬物療法〉

メトホルミンを併用した妊孕性温存療法

三橋 暁…………… 269

術後化学療法

野村弘行…………… 276

〔がん免疫療法〕

ミスマッチ修復 (MMR) 遺伝子機能欠損の評価法

百村麻衣・小林陽一…………… 284

ペムプロリズマブ

濱西潤三・万代昌紀…………… 292

抗がん薬レンパチニブとペムプロリズマブの併用療法

山上 亘・坂井健良・青木大輔…………… 300

子宮体部肉腫の分子標的療法

河村美由紀…………… 306

●乳腺—産婦人科医が知っておくべき必須知識 (3)

〈総論〉

乳腺の構造と機能

今西宣晶…………… 326

プロラクチン分泌の制御とその異常—新たな知見を含めて

生水真紀夫…………… 333

〈乳がんの治療と管理〉

乳がんの最新治療戦略

上田亜衣・石川 孝…………… 341

初期治療—外科治療、化学療法・放射線療法

林田 哲・北川雄光…………… 347

維持療法と産婦人科 (体がん) 検診

小林陽一・中野紗弓・松本浩範…………… 353

遺伝性乳がん

中村清吾…………… 358

乳がんから発見された HBOC の産婦人科検診・治療

西野幸治・安達聡介・榎本隆之…………… 363

遺伝性乳がん (BRCA1/2, Li-Fraumeni) の着床前遺伝子検査—新しい審査体制を含めて

佐藤 卓・水口雄貴…………… 370

〈乳がんの早期発見〉

日本の乳がん検診—その有効性と問題点

植松孝悦…………… 377

ホルモン補充療法、ビルと乳がんリスク・検診の有効性

片岡明美・阿部朋未・大野真司…………… 384

〈乳がんと妊孕性温存、妊娠出産、再建〉

乳がんと妊孕性温存

中村健太郎・洞下由記・鈴木 直…………… 389

乳がん患者の妊娠・出産・授乳

安井 理・関沢明彦…………… 397

乳房再建術・豊胸術の最新知識

加賀谷優・三鍋俊春…………… 406

〈母乳育児〉

妊娠と乳房・産褥乳腺炎—産褥乳腺炎、陥没乳頭、乳頭腫瘍

堤 清明・永井 敦・永井 泰…………… 416

母乳の特徴と母乳育児の得失

和田友香…………… 423

●豊富な所見で診断の進め方がわかる産婦人科画像診断アトラス (増)

〈周産期〉

●画像診断の進め方：基礎編

カラードブラ法の基本と応用

山本祐華…………… 6

子宮動脈波形測定

徳中真由美・関沢明彦…………… 10

胎児貧血の血流評価—中大脳動脈の血流計測による胎児貧血評価の実際と注意点

岩垣重紀…………… 14

SMI の産婦人科への応用

吉里俊幸・堀之内崇士・三田尾拓…………… 19

経会陰超音波法

中山敏男…………… 27

羊水量の評価

永易洋子…………… 37

胎児 CT を用いた骨系統疾患の診断—低被ばく線量

CT で実践する出生前診断

宮寄 治…………… 42

●画像診断の進め方：基本的スクリーニング

妊娠初期のスクリーニング

亀井良政…………… 46

妊娠中期のスクリーニング

松岡 隆	52
胎児計測と胎児発育不全の診断—推定胎児体重の利用とその問題点	
脇本 哲・石井桂介	57
●画像診断の進め方：胎児付属物の評価	
子宮頸管長	
大槻克文	62
●所見アトラス：臓器別評価	
胎児頭蓋内構造異常	
京谷琢治	68
胎児神経管閉鎖障害（NTD）	
市塚清健・奥山亜由美・瀬尾晃平	75
胎児顔面異常—眼球，顎，舌，耳介の異常	
室本 仁・和田誠司・左合治彦	80
胎児胸腔内疾患	
日高庸博	84
胎児心臓のスクリーニング—四腔断面像（4CV）異常で判明する疾患	
石戸博隆	90
胎児心臓のスクリーニング—大血管流出路断面（3VV）異常で判明する疾患	
石井陽一郎	98
胎児心臓の機能検査—血流波形解析を用いた解析	
小澤克典・和田誠司・左合治彦	103
胎児心臓の機能検査—HQ について	
赤澤陽平	110
胎児心臓の機能検査—胎児不整脈	
前野泰樹	114
胎児腹壁・消化管疾患	
長谷川瑛洋	122
胎児腎尿路奇形	
加地 剛	127
多胎妊娠—膜性診断	
村越 毅	133
多胎妊娠—機能診断—TTTS およびその関連疾患	
住江正大	138
●所見アトラス：胎児付属物の評価	
分娩後異常出血	
田中利隆	143
〈不妊・不育〉	
●画像診断の進め方	
多嚢胞性卵巣症候群の診断と治療	
岩佐 武・野口拓樹・武田明日香	152
卵巣過剰刺激症候群の診断と重症度の評価	
尾石友子・河野康志	155
子宮奇形—分類と不育との関係	
吉原紘行・杉浦真弓	160

体外受精の卵胞計測

矢嶋秀彬・勝 佳奈子・中岡義晴	168
卵管疎通性検査と不妊との関係	
原田竜也	172
卵胞発育と排卵の評価	
宮崎有美子・白藤 文・折坂 誠	177
●所見アトラス	
良性子宮腔内病変—子宮内膜ポリープ，子宮筋腫，子宮腔内癒着，慢性子宮内膜炎	
黒田恵司	182
〈女性医療〉	
●画像診断の進め方	
骨量計測と評価法—測定法と管理の実際	
曾根照喜	188
骨盤臓器脱，尿失禁の診断と検査	
加藤順子・三輪好生	192
●所見アトラス	
思春期女性の注意すべき骨盤内画像所見—代表的な先天奇形を中心に	
羽室明洋・古山将康	197
〈婦人科疾患〉	
●画像診断の進め方	
良性卵巣腫瘍—成熟奇形腫，内膜症性嚢胞，傍卵管・卵巣嚢胞などの鑑別	
若林ゆかり	204
●所見アトラス	
婦人科的急性腹症—異所性妊娠，卵巣出血，茎捻転	
竹内麻由美・松崎健司・原田雅史	209
子宮筋腫・子宮腺筋症	
市川新太郎・五島 聡	214
骨盤内炎症性疾患—一般的な疾患から特殊な病態まで	
權田拓郎・藤井進也	219
水尿管・水腎症	
濱本周造・安井孝周	224
子宮内器具の迷入—LNG-IUS（黄体ホルモン放出子宮内システム）の迷入	
野溝万史・瀬尾晃司・佐川典正	232
〈悪性腫瘍〉	
●画像診断の進め方	
子宮頸癌・内膜癌のリンパ節転移診断	
田中優美子	240
子宮頸部嚢胞性変化の鑑別	
中井 豪・山田隆司	245
子宮頸・体がんのセンチネルナビゲーション手術	
田中智人	251
子宮体がんⅡ期と子宮頸部腺癌の鑑別のポイント	
奥井陽介・太田 剛	257
子宮筋腫と肉腫の鑑別方法	

山本和宏	261
卵巣嚢腫の悪性度（境界悪性・がん）の鑑別方法	
伊藤久尊・小山 貴	273
乳がんスクリーニングのポイント	
広利浩一	278
●所見アトラス	
CIN3～微小浸潤がんのkolposcope所見	
岡愛実子・上田 豊・木村 正	284
子宮頸がんの子宮傍組織への浸潤所見—MRI 所見を中心に	
高濱潤子	288
子宮体がんの筋層浸潤所見	
坪山尚寛・大西裕満・富山憲幸	293
チョコレート嚢胞より発生した腫瘍のMRI 所見	
丸上（高橋）亜希	298
転移性卵巣がんの原発巣による画像所見の特徴	
齋田 司	303
傍大動脈リンパ節郭清時に注意を要する血管奇形	
田中良道	308
●産科救急—意識障害と危機的出血の初期対応（5）	
〈母体救急疾患〉	
意識障害の鑑別	
吉松 淳	440
妊産婦頭蓋内出血のマネジメント	
高橋 淳	445
羊水塞栓症—病態と診断	
小田智昭	451
HELLP 症候群, APLP, TTP, aHUS—診断と治療	
森川 守	460
子宮内反症—診断と対処法	
橋口幹夫	467
糖尿病性ケトアシドーシス	
杉山 隆	474
A 群溶連菌感染症	
早田英二郎	478
〈産科危機的出血への対応〉	
「産科危機的出血への対応指針 2022」改正点の解説	
玉石雄也・二井理文・池田智明	482
緊急輸血・血液製剤投与	
松永茂剛	488
外科的治療—子宮圧迫縫合法, 子宮摘出	
石黒 彩・桑田知之	495
IVR 適応—合併症・術後経過	
小野澤志郎・牧野真太郎	502
〈後期分娩後異常出血への対応〉	
後期分娩後異常出血の診断アルゴリズム	
小畑聡一郎・青木 茂	509

RPOC の画像診断と治療—胎盤遺残・ポリープ	
田中利隆	514
子宮動脈仮性動脈瘤—診断と治療	
高橋宏典・堀江健司・小古山学	524
●更年期症状への補完代替医療の最新知見—科学的根拠を踏まえて（6）	
〈総論〉	
更年期症状に対する補完代替医療の位置づけ—HRT 以外にできること	
澤田健二郎	548
ホルモン補充療法の禁忌症例への対応方法	
篠原康一	557
〈補完代替医療それぞれの作用機序と効果〉	
プラセンタ	
小池浩司・小池大我	561
漢方—おさえておきたい婦人科処方	
森 瑛子	568
[サプリメント]	
大豆イソフラボン	
安井敏之・木内理世・岩佐 武	574
エクオールの最新知見	
飯野香理・飯野 勢・樋口 毅・横山良仁	583
レッドクローバー・ブラックコホシュ・ザクロ・ローヤルゼリー・薬用ハーブ	
佐々木浩	590
ビタミン剤	
小山嵩夫	596
DHEA	
満岡孝雄	602
アロマセラピー	
竹ノ谷文子・塩田清二	612
心理療法・精神療法	
牧田和也	621
食事療法・運動療法	
尾臺珠美・寺内公一	624
●細菌叢から読み解く女性と子どものヘルスケア（7）	
〈総論〉	
細菌叢解析手法の進歩	
増岡弘晃・黒川李奈	656
細菌叢に着目した治療の現状	
石川 大	664
〈リプロダクション〉	
慢性子宮内膜炎と子宮内フローラ異常のとりえ方の現状	
遠藤俊明・馬場 剛	673
体外受精における着床不全と子宮内細菌叢	

京野廣一	679	桑原慶充	801
不育症と着床不全の子宮内膜マイクロビーム		腹腔鏡下子宮峡部頸管縫縮術	
山田秀人・滝本可奈子・施 裕徳・出口雅士	685	瀬尾晃平	808
腸内細菌叢異常と PCOS		〈切迫早産の治療〉	
草本朱里・原田美由紀	691	[Tocolysis]	
〈周産期〉		short tocolysis の実際	
腔内細菌叢と早産のトピック—細菌性陰症・Mycoplasma 感染・Ureaplasma 感染などへの抗菌薬またはラク		室月 淳	814
クトフェリンなどによる対応		long term tocolysis の対象と効用	
大槻克文	697	米田 哲	820
絨毛膜羊膜炎と羊水中の細菌感染—新たな早産予防・		糖尿病合併/妊娠糖尿病妊婦の切迫早産管理	
治療戦略の確立に向けて		衛藤英理子・増山 寿	827
漆山大知・秦健一郎・宮本新吾	704	早産期前期破水 (pPROM) の管理	
胎生期から新生児にかけての腸内細菌叢形成—分娩様		大井理恵	832
式, 母乳, 腸管免疫を中心に		●専攻医必携! 免疫チェックポイント阻害薬が変え	
最上晴太・久保のぞみ・近藤英治	711	る子宮がん診療 (9)	
〈小児〉		〈総論〉	
腸内細菌叢と小児の自閉スペクトラム症		免疫チェックポイント阻害薬の作用機序	
金子一成	718	小笠原仁子・長谷川幸清	854
小児外科と腸内細菌叢—プロバイオティクスによる治		子宮悪性腫瘍に対する免疫チェックポイント阻害薬の	
療戦略		適応の変遷	
金森 豊	726	山本香澄・西川忠暁・米盛 勸	860
食物アレルギーの発症予防—腸内細菌叢への影響を含めて		〈子宮頸がん編〉	
福家辰樹	733	抗がん薬とペムブロリズマブの併用療法の適応と有効性	
●早産予防・治療の現在地—最新の標準を探る (8)		利部正裕・馬場 長	868
〈早産の定義・診断・疫学〉		ペムブロリズマブ使用時の PD-L1 検査の意義・有効性	
早産関連の用語の解説		濱西潤三・万代昌紀	876
大井理恵・松田義雄	756	抗がん薬併用ペムブロリズマブへのベパシズマブ併用	
早産のリスク因子		の有効性	
伊東麻美・田中幹二	762	太田 剛	882
[コラム] 子宮頸管ポリープ・脱落膜ポリープと自然早産		ペムブロリズマブ施行時の有害事象対策	
林 周作	768	池内香子・松本光史	890
〈早産予防の戦略〉		〈子宮体がん編〉	
プレコンセプションケア—プロバイオティクス, プレ		高頻度マイクロサテライト不安定性によるペムブロリ	
バイオティクス, シンバイオティクスを中心に		ズマブ単剤のコンパニオン診断とその適応	
大槻克文	770	田中良道	898
細菌性陰症に対する治療介入の是非		腫瘍遺伝子変異量高スコアによるペムブロリズマブ単	
堀江健司・大口昭英	778	剤のコンパニオン診断とその適応	
プロゲステロン製剤		清水裕介・梶山広明	904
林 昌子	784	分子標的薬レンパチニブとペムブロリズマブの併用療	
子宮頸管ペッサリー		法の適応	
熊谷恭子・尾崎康彦	790	松宮寛子・渡利英道	912
[予防的子宮頸管縫縮術]		分子標的薬レンパチニブとペムブロリズマブの併用療	
縫縮困難例に対する経腔的頸管縫縮術の工夫		法の有害事象対策	
松岡 隆	796	西川忠暁	917
経腹的子宮頸管縫縮術		今後の展望—注目される臨床試験など	
		西尾 真	924

●産婦人科良性疾患に対する内視鏡手術の現在—新しいエビデンスとトレンド (10)

〈総論〉

モノポーラ、バイポーラ、血管シーリング装置、超音波凝固切開装置の安全な使用法

羽田智則・都築陽欧子・大石 博子 …………… 948

〈婦人科〉

natural orifice transluminal endoscopic surgery (NOTES) の婦人科領域への応用—子宮摘出、付属器腫瘍、子宮筋腫など

五十嵐敏雄…………… 956

皮下鋼線吊り上げ法を用いた婦人科手術の現状

林 茂空…………… 962

低侵襲子宮全摘術の際の尿路・直腸損傷への対処

安藤正明・下村優莉奈・福森史也・越智良文

仙波恵樹・澤田麻里・坂手慎太郎・菅野 潔

柳井しおり…………… 968

〈不妊〉

妊孕性を考えた子宮内膜症—手術内膜症性嚢胞への対処法と嚢胞摘出術のポイント

平石 光・岩瀬 明…………… 979

オフィスでの子宮鏡手術—子宮内膜ポリープ、粘膜下子宮筋腫、卵管通水など

升田博隆…………… 985

卵管鏡下卵管形成術のいま

田島博人…………… 991

腹腔鏡手術における癒着防止の現状

藤下 晃・河野通晴・平木宏一…………… 996

〈女性医学〉

骨盤臓器脱手術における鏡視下手術内視鏡手術・ロボット手術

吉村和晃……………1003

腹腔鏡下仙骨腔固定術での尿管損傷の回避と蛍光尿管カテーテルの応用

加藤さや子・岡本愛光……………1010

〈産科手術〉

帝王切開癒着症候群の治療—腹腔鏡下子宮癒着部修復術

辻俊一郎・信田侑里・村上 節……………1017

腹腔鏡下子宮峡部頸管縫縮術—難治性頸管無力症治療のトレンド

瀬尾晃平……………1023

●胎児心臓を診る—この超音波所見を見逃すな！

【特別付録Web動画】(11)

〈総論〉

基本正常断面とその異常から疑われる先天性心疾患

稲村 昇……………1046

〈位置異常・軸異常から診断できる先天性心疾患〉

内臓錯位症候群—無脾症候群と多脾症候群

山本祐華……………1052

フォロー四徴症

瀧間浄宏……………1059

修正大血管転位症

武井黄太……………1068

〈四腔断面異常から診断できる先天性心疾患〉

心房中隔欠損症・心室中隔欠損症・房室中隔欠損症

新谷光央……………1074

総肺静脈還流異常症

石戸博隆……………1092

エプスタイン病・三尖弁異形成—この所見を見落とすな

新居正基……………1100

左心低形成症候群—大動脈弁閉鎖・僧帽弁閉鎖

加地 剛……………1106

〈大血管断面異常から診断できる先天性心疾患〉

心室中隔欠損を伴わない肺動脈弁狭窄症・純型肺動脈閉鎖症

百木恒太……………1112

重症大動脈弁狭窄症

小澤克典・和田誠司……………1120

完全大血管転位症

石井陽一郎……………1129

両大血管右室起始症

金 基成……………1136

大動脈縮窄症と大動脈離断症

北代祐三・漢 伸彦……………1142

〈胎児不整脈〉

胎児頻脈性不整脈の鑑別

三好剛一……………1149

●AIがもたらす産婦人科医療の変革 (12)

〈総論〉

医療現場における AI 活用

小松正明……………1170

AI による医療現場の発展と今後の展望

大山慎太郎……………1178

〈産科〉

AI を用いた胎児心臓超音波スクリーニング支援システムの開発

小松玲奈……………1184

AI による緊急帝王切開の予測

永易洋子……………1190

AI による胎児表情の識別

宮木康成・秦 利之・三宅貴仁……………1197

〈生殖医療〉

AI による精子評価支援システムの開発

湯村 寧・竹島徹平・濱上知樹……………	1207
AIを用いた胚画像認識と臨床データ解析の融合による 妊娠予測	
江夏徳寿……………	1216
〈がん検診〉	
子宮頸がん検診を高精度に迅速化する病理 AI	
市原 真……………	1222
子宮内膜細胞診サポート AI モデルの開発	
寺崎美佳……………	1228
〈婦人科腫瘍〉	
子宮頸部病変の AI 自動診断システムの開発	
三好 愛・上田 豊・木村 正……………	1234
AIを用いた子宮鏡検査による子宮体がん自動診断シス テムの開発	
高橋 優・曾根献文……………	1240
AIを用いた子宮肉腫の術前画像診断システムの開発	
豊原佑典・曾根献文……………	1248
卵巣がんの病理組織画像の AI 診断に基づく治療選択・ 予後予測ツールの開発	
植田彰彦・濱西潤三・万代昌紀……………	1252

原著

21 水酸化酵素欠損症合併妊娠の 2 例	
後藤美希・竹入洋太郎・今井志織・大村美穂 神野雄一・竹内 真・吉田光代・矢野倫子 東梅久子・有本貴英・伊藤純子 ……………	205 (1)
経腹膜アプローチによるロボット支援下傍大動脈リン パ節郭清術における腹膜テント形成の工夫	
竹本祐基・馬淵誠士・林田はるえ・前田通秀 角張玲沙・松崎慎哉・久 毅・上浦祥司 ……………	531 (5)
腹式単純子宮全摘を再現した単孔式腹腔鏡下単純子宮全摘 下地 彩・宗万紀子・家村洋子・水津 愛 岩見州一郎……………	1030 (10)

症例

腹腔鏡下術後のドロペリドール持続投与により急性ジ ストニアをきたした 1 症例	
溝上友美・生田明子・奥 楓・白神裕士 吉村智雄・榎木 晋・山崎悦子・松本早苗 神崎秀陽・北 正人・岡田英孝 ……………	313 (2)
体外受精反復不成功のため人為的透明帯除去を実施す ることで形態良好胚が得られ、生児を獲得できた 1 例	
和田麻美子・平山和宏・藤井 調・伊勢田千裕 船木那津美・千葉幹子・赤石一幸・谷川原真吾	

星 和彦……………	429 (3)
癌性心嚢水による心タンポナーデに対して心嚢内シス プラチン投与が有効であった再発卵巣癌の 1 例	
篠原拓実・柿沼 薫・清水綾乃・岡本朗良 兼子絢華・上小牧憲寛・大和田倫孝・竹島信宏 柿沼敏行……………	638 (6)
無症状で発見され、その後繰り返す胸腔子宮内膜症性 気胸に対して両側付属器摘出術が奏効した 1 例	
眞中優美・兼子絢華・豊田祥子・柿沼 薫 土橋 洋・関 哲男・大和田倫孝・竹島信宏 柿沼敏行……………	643 (6)
浸潤性インプラントを認めた seromucinous borderline tumor (SMBT) ⅢB 期の 1 例	
井ノ又裕介・竹内正久・川上 穰・嶺真一郎 中村 聡・井上貴史……………	740 (7)
軽症型 β サラセミア合併妊娠の一例	
吉野なな実・池田枝里・遠藤瑞穂・辻中安菜 常見浩司・橘 涼太・芦田 敬 ……………	838 (8)
腹腔内大量出血を伴う卵巣出血に対して血管塞栓術に て止血を得た 1 例	
春石真菜・廣瀬雅紀・鈴木利直・岡安慶太 竹原直希・安部真希子・木村博昭 ……………	931 (9)
チョコレートの長期多量摂取が原因として疑われた胎 児動脈管早期収縮の 1 例	
高橋誠志郎・木村博昭・向山文貴・後藤優希 廣瀬雅紀・安部真希子・平敷好一郎 ……………	1157 (11)

臨床経験

腹腔鏡下手術で治療しえた卵巣妊娠 6 例の検討	
夏山貴博・佐原裕美子・草壁 愛・別宮史子 松井 萌・小菊 愛・登村信之・森上聡子 近田恵里……………	1266 (12)

FOCUS

医療提供体制をリフォームする方法	
岩瀬 明・日下田大輔・北原慈和 ……………	200 (1)
経腔的骨盤臓器脱手術の主柱 (Level I の修復法) とし ての仙骨子宮靱帯腔固定術—手技上の問題点とその 解決法	
永田一郎……………	630 (6)
子宮卵管造影検査—実施上のポイントと注意点	
福田愛作・大橋飛雄馬……………	1258 (12)